

佐倉市議会だより



2015年2月1日
〈平成27年〉

発行 佐倉市議会 編集 広報公聴委員会 〒285-8501 佐倉市海隣寺町97番地 TEL484-6279 FAX486-2508
佐倉市ホームページ <http://www.city.sakura.lg.jp> メールアドレス gikai@city.sakura.lg.jp

11月定例会

平成26年度補正予算など 27議案を可決・同意

佐倉平和使節団基金条例など条例の新規制定4件、
志津学童保育所など指定管理者の指定3件を可決

佐倉市議会は、11月25日から12月15日までの21日間にわたり、平成26年11月定例会を開催しました。

今定例会では、市長から「平成26年度佐倉市一般会計補正予算」など議案27件が提出され、審議の結果、いずれも原案のとおり可決、同意しました。

請願・陳情については、「消費税10%への増税中止を求める請願」など4件が、議員提出議案については、「佐倉市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について」などがそれぞれ提出され、審議しました。

また、一般質問には、各会派の代表質問に4人、個人質問に12人が登壇し、市政について広範囲の質問を行いました。

佐倉平和使節団(平成26年7月長崎市)



学童保育所が新設される青菅小学校ミーティングルーム(上)と志津小学校体育館(下)



勝田台長熊線 (志津霊園関連区間)が開通!

平成26年11月27日(木)、都市計画道路 勝田台長熊線の志津霊園関連区間が開通し、開通式が行われました。佐倉市議会では、「志津霊園問題」に関し、特別委員会を設置するなどして、原因の究明や開通に向けたさまざまな協議を行ってまいりました。

開通後は、周辺道路の混雑の緩和や交通安全の確保が期待されます。



佐倉都市計画道路 勝田台長熊線(志津霊園関連区間)開通式

開通式 議長あいさつ

本日、佐倉都市計画道路勝田台長熊線(志津霊園関連区間)は、開通の日を迎えることができました。

この区間の道路開通に向けては、佐倉市議会といたしましても、課題の解決へ最大限に取り組み、全力で開通の推進に当たってまいりましたが、本日に至るまで数多くの方々のご理解、ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

今回の開通は、生活道路に多数流入する通過車両への住民不安、また勝田台長熊線に並行する国道296号の慢性的な交通渋滞など、西志津地域及びその周辺が抱える道路問題に対し、その改善に大きな役割が果たせるものと存じます。

また、勝田台長熊線は、この区間の整備をもって全線開通となりますので、市交通網の動脈としての機能がひときわ向上し、地域経済の発展に貢献していくものと大いに期待しております。

今後、市民の誰もが心豊かに、生き生きと暮らせるまちとなりますよう、市政に寄与してまいりたいと存じますので、市民の皆様方におかれましても、一層のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、関係各位のご尽力に対しまして、重ねて感謝申し上げますとともに、皆様方のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。ご挨拶といたします。

平成26年11月27日
佐倉市議会議長 中村孝治

表彰

富塚忠雄議員に

総務大臣感謝状

市議会議員として35年にわたり、地方自治の発展に尽力され、その顕著な功績により、総務大臣から感謝状が贈呈されました。

個人質問

さくら会 井原慶一

住民組織について

佐倉市の経営資源の一つとして、住民組織率の高さがある。財政難の中、超高齢社会を迎え、介護・医療などの福祉の担い手として地域住民の組織が期待されている。市長の考えは。

佐倉市の住民組織率は、年々、低下傾向にあるものの70%の水準を維持している。まちづくり協議会等総合的な視点の中で取り組んでまいりたい。

住民集会所建設にあたって消費増税や人材・人件費の高騰によって建設計画に狂いが生じている。補助金の増額を考えることはできないか。また、青年館の解体費用について、市で何らかの対応を考えられないか。

補助金については、他市の状況について今後調査していく。解体費用については、これまでどおりの対応としたい。

高木大輔

高齢者の活躍の場について

全国で導入されている介護支援ボランティアポイント制度について、地域支援事業の一般介護予防の枠組みとして導入する考えがあるか伺う。

既に自発的に組織されたボランティアグループが多様な形態で各地域で活用しており、ポイント管理のコストも高いことから、導入は考えていない。

高齢期における社会参加活動のために必要な啓発・情報提供を行う、具体的な行動につなげていくことが求められる。

公共施設のトイレ環境の充実について

公共施設のトイレ充実、市民生活、災害、観光の推進において必要と考える。オストメイトの方など、障がいのある方からの意見を聞き、障がい者に優しいトイレの整備が必要である。オストメイトトイレマップの作成を提案するがいかがか。

先進市の事例などを参考に研究すると共に、設置状況のHP等への掲載を検討する。

地域経済対策について

規制緩和で大型店の進出が続くが、商店街の灯を消さないために市の果たす役割は何か。

大型店にない魅力を創造していく必要があると考えている。地域を活性化する経済効果が検証されている「住宅リフォーム助成制度の請願」を議会は全会一致で採択したが、その後市はどう取り組んでいるのか。

耐震補強と同時に進行する場合等を定め補助を行っている。建設関連事業は裾野が広く地元業者への発注で地域経済が潤う制度の実施を急ぐべき。

請願については重く受け止め、今後も検討してまいりたい。子育て支援のあり方

市の計画では小規模保育に重点を置き、正規保育士のいないC型保育を認めている。子育て環境に格差を持ち込むのか。

どの保育類型でも国の基準を満たせば適切と考えている。保育環境に大きな差を認め保育料金は設定するののか。

保育料は同額に設定する。

歳入増について

ふるさと納税はクレジット決済が納税のカギであり、先進自治体では実績が上がっている。市の取り組み状況を伺う。

案内用パンフレットにゆうちよ銀行の払込取扱票を組み入れ、手続きの簡素化を図っている。今後は、インターネットによる寄附の受付やクレジットカード決済などの導入について取り組んでいく。

市内の長岡産婦人科クリニックでは、育児の不安を和らげ母性を育むために産後ケアの取り組みをすでに実施している。市の今後の取り組みを伺う。

産後ケアの取り組みについて

民間の産科医療機関等の意見も伺いながら、モデル事業の結果を踏まえ検討していく。

順天堂大学の誘致について

順天堂大学誘致に関する意見書を採用してから2年経過した。大学誘致の目的は、単に経済的波及効果のみならず、学生など若年層がいることで、まちを活性化させることにもつながることから、決断してはどうか。

大学側から事業の詳細についての申請が出されていない段階で、市民の税金を使うという決断はできない。詳細な内容が明確となり次第分析・検討する。

人間ドックについては助成制度ができたが、脳ドックへの助成制度は実現していない。脳ドック受診の促進が脳血管疾患の早期発見、早期治療につながる、結果として国民健康保険財政に寄与するものと思われる。制度創設に向けた考えを伺う。

国保財政の状況は依然として厳しく、脳ドックへの助成事業の実施について、助成率等は財政状況や効果等を踏まえて判断すべきとの意見もあることから、引き続き検討していく。

35人学級の継続について

財務省は、小学1年生に導入されている「35人学級」を「成果がない、金がかかりすぎだ」等の理由で「40人学級」に戻す考えを示したが、佐倉市における実態と考え方を伺う。

「35人学級」は学校が抱えるさまざまな課題に適切に対応し、子どもたち一人ひとりに質の高い教育を施すことを目的に実施している。学校からの声は「子ども一人ひとりに目が行き届くようになった」「遅れがちにな子どもへの個別指導がしやすくなった」「子ども同士の話し合いが活発になった」等、全部の学校から肯定的な報告を受けている。

教育委員会としては、既に、千葉県教育委員会に「35人学級」編成の維持について要望した。

いつ頃歩道整備に入るのか伺う。

平成27年度に用地測量、28年度に用地取得、29年度に工事着工の予定。

高年齢者の戸別ゴミ収集実現を

毎日のゴミ出しにも不自由を感じる高齢者・障がい者の方が高年齢社会になってますます増加するのは想像に難くない。行政懇話会でもこの点の危惧も発言されていた。昨年11月議会でも提案し、検討するとの答弁だった。この間、どう検討されたのか再度質問する。

現在はホームヘルパーやご近所等のご好意で行われているものと考えている。福祉施策との調整が必要なので関係部局と協議する中で検討していく。

急速に進む高齢社会で、元気な高齢者が高齢者施設でポイント制のボランティア活動を行う社会参加は、本人にとっても社会にとっても大変有意義なことと考えるので導入を提案する。

自発的に組織されたボランティアグループが多くあり、市としては本来のボランティア精神に基づく活動の促進が重要と考えるので導入は考えていない。

「35人学級」は学校が抱えるさまざまな課題に適切に対応し、子どもたち一人ひとりに質の高い教育を施すことを目的に実施している。学校からの声は「子ども一人ひとりに目が行き届くようになった」「遅れがちにな子どもへの個別指導がしやすくなった」「子ども同士の話し合いが活発になった」等、全部の学校から肯定的な報告を受けている。

教育委員会としては、既に、千葉県教育委員会に「35人学級」編成の維持について要望した。

いつ頃歩道整備に入るのか伺う。

平成27年度に用地測量、28年度に用地取得、29年度に工事着工の予定。

毎日のゴミ出しにも不自由を感じる高齢者・障がい者の方が高年齢社会になってますます増加するのは想像に難くない。行政懇話会でもこの点の危惧も発言されていた。昨年11月議会でも提案し、検討するとの答弁だった。この間、どう検討されたのか再度質問する。

現在はホームヘルパーやご近所等のご好意で行われているものと考えている。福祉施策との調整が必要なので関係部局と協議する中で検討していく。

国民年金の納付率が4年連続で60%、若い世代の未納率が高いということで、将来の年金制度が立ちいかなくなる危険性がある。一方で公的年金全体では未納者は5%であり、心配ないという報道もある。市としては、年金制度の正しい情報伝達に努めたい。

施設の有効活用について

草ぶえの丘には最大200人が宿泊できる宿泊施設や体育館がある。岩名公園から2kmの距離から考えてさらなる連携協力で有効活用すべきと考えるが、26年6月と8月、ACミラのジュニアキャンプ合宿所として利用した。今後はさらに岩名運動公園と連携し有効活用を図りたい。体育館については施設利用向上のためホームページの見直しとあわせ、スポーツ合宿誘致に向けた取り組みを進めていきたい。

本市の制度は一万円の寄附に、二千円相当の贈呈品だが、寄附者に喜んでいただけるよう、半返しほどにできないか伺う。

さらに検討していく。

寄附者の利便性を考え、HPでの寄附申し込みや、カード決済の実施はどうか。

導入について取り組む。

話題になれば、寄附を頂きながら佐倉市をPRできるチャンスと考えるがいかがか。

市の知名度向上等にも効果があると考える。今後も市をPRでき話題となるような多種多様な特産品を研究検討していく。

吉備中央町は、「米作り農家応援事業」を導入し、一万円の寄附で20kgのお米贈呈が目の特典となっているが、このような観点からどう考えるか。

贈呈用の特産品提供者にとっても無料で自社製品を宣伝できる。吉備中央町のような例を含め、市内事業者等に制度や先進地の取り組み状況等を周知するようさらに努めていく。

市市民の潜在力を結集すれば、まちづくりを発展できると考える。今後も、人的資源も含めたさまざまな資源を活用し、市の発展に結びつけていきたい。

市市民の潜在力を結集すれば、まちづくりを発展できると考える。今後も、人的資源も含めたさまざまな資源を活用し、市の発展に結びつけていきたい。

市のポテンシャル・エネルギー

市の持つポテンシャル・エネルギーについて、どのように評価しているか。

市民の潜在力を結集すれば、まちづくりを発展できると考える。今後も、人的資源も含めたさまざまな資源を活用し、市の発展に結びつけていきたい。

市市民の潜在力を結集すれば、まちづくりを発展できると考える。今後も、人的資源も含めたさまざまな資源を活用し、市の発展に結びつけていきたい。

市市民の潜在力を結集すれば、まちづくりを発展できると考える。今後も、人的資源も含めたさまざまな資源を活用し、市の発展に結びつけていきたい。

市市民の潜在力を結集すれば、まちづくりを発展できると考える。今後も、人的資源も含めたさまざまな資源を活用し、市の発展に結びつけていきたい。

市市民の潜在力を結集すれば、まちづくりを発展できると考える。今後も、人的資源も含めたさまざまな資源を活用し、市の発展に結びつけていきたい。

市市民の潜在力を結集すれば、まちづくりを発展できると考える。今後も、人的資源も含めたさまざまな資源を活用し、市の発展に結びつけていきたい。

市市民の潜在力を結集すれば、まちづくりを発展できると考える。今後も、人的資源も含めたさまざまな資源を活用し、市の発展に結びつけていきたい。

市市民の潜在力を結集すれば、まちづくりを発展できると考える。今後も、人的資源も含めたさまざまな資源を活用し、市の発展に結びつけていきたい。

市市民の潜在力を結集すれば、まちづくりを発展できると考える。今後も、人的資源も含めたさまざまな資源を活用し、市の発展に結びつけていきたい。

高齢になっても安心して暮らす取り組みについて

次期計画のためのアンケート調査では、現在の介護保険料は負担感が高いとの回答が半数以上。次期保険料の考えを伺う。

可能な限り上昇を抑制。準備基金を取り崩し財源に充て、現在と同じ水準となる見込み。

市民ネットワーク 大野博美

千代田ふれあいセンター構想

大林組販売管理センター購入決定までの経緯の文書を請求したが、ほんの一部しか存在していない。用地交渉過程等はすべて文書に残すべきではないか。

政策調整会議や予算案調整段階で逐次文書作成されている。

それだけでは意思形成過程が不明。志津園問題は文書記録の杜撰さによる。同じ轍を踏まないため、意思形成過程を文書に残すよう定めた「文書管理指針」を設けるべき。用地交渉も記録に残せば市民への説明責任が果たせるが、市長の見解は。

文書作成で職員の残業が増えることのないよう、ご提案の趣旨を踏まえ、今後検討する。

用地交渉などのメモを様式に書き写すだけ。残業は増えない。ふれあいセンター構想に対するパブコメの期間が短く、住民への周知も不十分。もっと時間をかけて説明できなかったか。

地元からの要望に沿って事業を進めており、町内会長等の集まりでも事前に説明している。

介護施設等における高齢者のボランティア活動を活性化させるため、その活動量に応じた交付金などが付与される事業です。高齢者が「お世話になる」側から「お世話する」立場になることで、ますます元気になる。元気の輪を広げる事業として現在全国各地で取り組まれています。

用語解説

主な議案の概要

議案第1号から第7号まで及び第24号は平成26年度各会計の補正予算、議案第8号から第17号まで及び第25号は各種条例の制定、議案第18号から第20号までは市道路線の廃止、変更及び認定、議案第21号から第23号までは指定管理者の指定、議案第26号は契約の締結に関する議案です。

【議案第1号 平成26年度佐倉市一般会計補正予算】

歳入歳出それぞれ5億5583万5千円を増額しようとするもので、補正後の予算総額は議案第24号の補正予算と合わせ497億2922万7千円となる。歳入の主なものは、国・県支出金、寄附金、市債などの増額及び繰入金金の減額。歳出の主なものは、人事異動や給与改定等に伴う職員人件費の補正、仮称千代田ふれあいセンター施設整備事業やふるさと融資制度を活用した企業誘致事業等の増額及び事業費確定に伴う減額など。

【議案第10号 一般職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定(1/15)】

千葉県人事委員会勧告に準拠し、一般職員の給料表について若年層を中心に0.3%引き上げるとともに、一般職員及び特別職員等の期末・勤勉手当を0.15月引き上げようとするもの。

【議案第11号 佐倉市平和使節団基金条例の制定(1/15)】

佐倉市平和行政の基本に関する条例に基づく平和事業の一環として、毎年夏休み期間中に市内中学生を原爆被災地に派遣する佐倉市平和使節団に関する事業の財源を確保するため、佐倉市平和使節団基金を設置しようとするもの。

【議案第13号 佐倉市難病者等見舞金支給条例の制定(1/15)】

平成26年5月に公布された難病の患者に対する医療等に関する法律等の制定に伴い、指定難病等に係る新たな医療費助成制度が創設されたことから、新制度で追加された疾患を見舞金の対象とするとともに、これまで一律であった支給額を見直し、対象疾患の拡大に伴う受給者数の増加に対応しようとするもの。

【議案第14号 佐倉市指定介護予防支援等の事業に関する基準を定める条例の制定(1/15)】

【議案第15号 佐倉市地域包括支援センターの包括的支援事業に関する基準を定める条例の制定(1/15)】

第3次一括法による介護保険法の改正に伴い、厚生労働省令を参酌し、指定介護予防支援の事業に係る申請者の要件等に関する基準や、地域包括支援センターにおける包括的支援事業の実施に関する基準などを定めようとするもの。

【議案第21号～23号 指定管理者の指定(1/15)】

男女平等参画推進センターの指定管理者に特定非営利活動法人ミウズ1号を、佐倉市立志津学童保育所及び青菅学童保育所の指定管理者にワイ・エム・メンテナンス株式会社を、佐倉市ヤングプラザの指定管理者にシダックス大新東ヒューマンサービス株式会社をそれぞれ指定しようとするもの。

ざくら会

議案第1号と議案第7号平成26年度佐倉市一般会計補正予算及び特別会計等補正予算について賛成

議案第1号の平成26年度佐倉市一般会計補正予算については、歳入の主なものは、国庫支出金、県支出金、寄附金、市債などの増額及び財政調整基金からの繰入金金の減額であり、歳出の主なものは、人事異動や給与改定等に伴う職員人件費の補正、(仮称)千代田ふれあいセンター施設整備事業、ふるさと融資制度を活用した企業誘致事業等の増額及び入札等に伴う事業費の確定による減額などである。

国や県の支出金や地方債を可能な限り充当し、コミュニティ施設や消防団施設などの地域住民の要望、障害者自立支援のための給付費の増、小中学校耐震補強工事の資材費等の上昇に対応するなど、市民生活の利便性と安全安心を目的とした適正な行政活動を執行するためのものと認められる。

また、継続費補正は、小学校給食室の大規模改修の追加や小学校校舎耐震補強の事業費の増額、繰越明許費補正は、井野・酒々井線橋梁整備事業の追加、債務負担行為補正は、複数年で契約を締結する業務の追加など、地方債補正は、地域総合整備資金貸付事業債の追加や消防施設整備事業債などの変更であり、それぞれの事業を的確に執行するための補正となっている。

このような判断から、平成26年度佐倉市一般会計補正予算について賛成するものとした。

議案第2号の国民健康保険特別会計補正予算、議案第3号の農業集落排水事業特別会計補正予算、議案第4号の介護保険特別会計補正予算、議案第5号の後期高齢者医療特別会計補正予算、議案第6号の水道事業会計補正予算、議案第7号の下水道事業会計補正予算についても、

公明党

議案第1号平成26年度佐倉市一般会計補正予算について賛成

補正予算については、事業費確定に伴う減額や職員人件費等の補正、仮称「千代田ふれあいセンター」施設整備事業や、ふるさと融資制度を活用した企業誘致事業等の増額が主なものである。

仮称「千代田ふれあいセンター」の整備については、10年ほど前から、千代田地区の住民より、「千代田地区には、老人憩の家千代田荘以外に公共施設がなく、柴井野の住宅販売事業が終了したときには、大林組の販売センターの用地建物を千代田地区をはじめとする住民のコミュニティの拠点となるよう購入し活用してほしい」との要望があったもので、今回市の政策調整会議等の決定を受け、取得予算の計上となった。周辺住民から強く取得を望む声が多い。

議会には、議案に対し一部賛成、一部反対という採決はない。特に補正予算を含む予算案は、提出された予算案全体に対しての賛否を決めなければならない。

審査の過程で、一部の予算には賛成と言っているが、最終的にその予算案に反対するということは、反対多数で否決された場合、結果的に、すべての事業ができなくなるという前提での判断であり、これが議決責任である。逆に予算案に賛成した議員あるいは会派は、それが可決された場合、その議案のすべてについて将来にわたり責任を持つことになる。当然ながら、賛成にも反対にも議決責任はある。

このことを踏まえ公明党は、予算の内容を総合的に判断した結果、補正予算に賛成する。

市民ネットワーク

議案に反対する主な理由

議案第1号 学校用務員業務委託は低落札により人件費が最低

躍進

議案第13号 佐倉市難病者等見舞金支給条例の制定については見舞金受給対象者が新制度で拡大されたことは評価できるが、併せて非課税世帯も減額された。限られた財源の中でも弱者保護の視点からの配慮を要望する。

議案第24号は衆議院解散に伴う選挙費用のための増額補正である。国の執行であるため賛成したが、今回の解散は任期2年を残し、明確な争点もない、大義なき解散である。経費は佐倉市で5548万2千円、全国的に約700億円もの予算を費やしている。国の借金が1千兆円を超える中で本当に今やる必要があるのか、疑問に思う。

議案第10号に反対、大野博美議員などから提案の修正案に賛成

佐倉市の議員は市の職員なのか。市職員の給与を引き上げるための条例改正に当たって、なぜ議員報酬まで一律に引き上げる議案にするのか。勝手に報酬を引き上げられるのは誠に不本意であり迷惑この上ない。

議案第10号に反対。県人事委員会の勧告に準拠して一般職員、特別職員の期末・勤勉手当を0.15月引き上げようとするもの。これに議員も同様に0.15月上乗せするという提案。この経済状態で引き下げを検討しなければならぬところを便乗した上乗せは容認できない。

議案第22号 学童保育の指定管理に反対。今年4月から市内全域の学童保育所と児童センターが指定管理となり、さまざまな問題が存在する。単なる施設管理ではなく子ども達の生活の場を運営するノウハウが認められない事業者の検証もせずに指定管理を追加することは許されない。

議案第13号、難病の指定数が56種類から300種類に拡大したことを理由に見舞金をそれぞれ月額30000円や20000円に引き下げるものであります。難病で困っている方に対して、経費削減とは言えひどいものであり、逆に引き上げるべきです。よって13号に反対をします。

※議席番号と議員名の確認は4ページの議案一覧をご覧ください。

無会派

議案第1号に賛成

仮称千代田ふれあいセンター施設整備事業が予算化されたことは評価できるが、地域住民と

委員会報告

※議案は市長提出議案

総務常任委員会

開催日：平成26年11月25日、12月8日／場所：第四委員会室

《審査結果》

議案1	議案2	議案5	議案8	議案9	議案10
可決	可決	可決	可決	可決	可決
議案11	議案12	議案21	議案24	議案25	議案26
可決	可決	可決	可決	可決	可決
請願21	陳情38				
不採択	不採択				

議案12件、請願1件、陳情1件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

今回審査した議案第11号と議案第12号は、佐倉平和使節団に関する事業に対して多額の寄附を頂戴したことを契機に、今回の基金設置などの条例制定が提案されたことから、今後の事業執行にあたっては、これまでの内容を継続することはもちろん、寄附された方のご意思に十分鑑み、参加人数の拡大などさらなる内容の充実に努められたい。

文教福祉常任委員会

開催日：平成26年12月9日／場所：第三委員会室

《審査結果》

議案1	議案4	議案13	議案14	議案15	議案22
可決	可決	可決	可決	可決	可決
議案23	陳情36				
可決	採択				

議案7件、陳情1件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

難病者等の見舞金支給事業については、制度に対する市の考えを明確にするとともに、受給者の状況把握と支給額の妥当性などの検証に努めていただきたい。

地域包括支援センターについては高齢者の身近な相談窓口であり、今後さらに増えていく高齢者を地域でどのようにカバーしていくのか、窓口の地理的拡充も含め考慮していただきたい。

指定管理者による市有施設の管理運営については、現場の声を聴くなど運営状況の確認に努め、市の指導・監督体制を強化していただきたい。

経済環境常任委員会

開催日：平成26年12月10日／場所：第二委員会室

《審査結果》

議案1	議案3	議案16	陳情37
可決	可決	可決	不採択

議案3件、陳情1件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

今回は、福祉施設にふるさと融資制度が活用されたが、今後は地域活性化に貢献するような事業者によりこの制度を活用してもらえるよう、対外的なアピールの仕方について工夫していただきたい。

建設常任委員会

開催日：平成26年12月11日／場所：第一委員会室

《審査結果》

議案1	議案6	議案7	議案17	議案18	議案19
可決	可決	可決	可決	可決	可決
議案20					
可決					

議案7件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

佐倉市水道ビジョン及び佐倉市下水道ビジョンの策定にあたっては、水需要や施設の更新需要の予測をしっかりと行い、市民の負担が過大とならないよう努めていただきたい。

2月定例会の予定 議会を傍聴してみませんか

- ◆議会運営委員会 2月17日(火)
- ◆招集日 2月23日(月) 午後1時から
- ◆一般質問 3月2日(月)～5日(木)
- ◆常任委員会 3月9日(月)～12日(木)
- ◆最終日 3月16日(月) 午後1時から

☆日程は変更になることもありますので、詳細につきましては事務局までお問い合わせください。 議会事務局 ☎484-6279

□インターネット中継：本会議(招集日、一般質問、最終日)の様相を開催時間中にライブ中継するほか、会議の約1週間後から録画中継を配信

□CATV議会放映：本会議の様相を開催日の翌日午後5時30分放送
【地上デジタル10チャンネル、デジタルCATV301チャンネル】

議会百景

年末の議会、週明けの議場は冷え込み、体の芯まで冷えます。
しかし、一度会議が始まればすべての議員が市政の議論に熱中する。年末の忙しい時期であるのも、本年は衆議院選挙の真只中であることさえ忘れ、一般質問に集中します。
よりよい佐倉市を目指し、常に熱い議会が皆様に伝わるといいなあと思います。

(広報公聴委員 村田穰史)

昨年12月の衆院選でも高齢者の方からいただきました。「投票に行きたいんですが行けない。近くでできないでしょうか」と。

いま全国では投票率を上げるための取り組みが始まっています。誰でも行きたいというコンピニあるいは大学などで期日前投票を行おうというものです。

わが佐倉市でも検討していく必要があります。

(広報公聴委員 小須田稔)

佐倉市議会のホームページも ご覧ください

佐倉市のホームページ <http://www.city.sakura.lg.jp> から

→ 佐倉市議会 をクリック



- 会議録が検索できます!
平成元年以降の市議会の本会議会議録の内容を検索することができます。
- インターネット中継を見ることができます!
本会議の様相を、開催時間中にライブ中継で見ることができ、会議の約1週間後から録画中継として見ることができます。

「佐倉市議会だより No.74」の訂正について

11月15日発行の「佐倉市議会だより No.74」の掲載内容に誤りがありました。お詫びして下記のとおり訂正します。

(P5)会派等の意見 公明党
誤：「議案第1号 平成26年度佐倉市一般会計補正予算に賛成」
↓
正：「議案第1号 平成25年度佐倉市一般会計歳入歳出決算認定に賛成」
※訂正版は佐倉市議会ホームページでご覧いただけます。